

茂本ヒデキチ

× 桜 men

■プロフィール

茂本ヒデキチ

墨絵イラストレーター。

東京在住 1957年愛媛県松山市生まれ

大阪芸術大学デザイン科卒業

デザイナーを経てフリーイラストレーターに。

日本の画材「墨」によるドローイングを得意としそのスピード感あるタッチでミュージシャン、黒人、アスリート等、既存の墨絵では描かれなかったモチーフを取り入れたその独特な墨作品は日本国内はもとよりNYでも話題を呼び、海外からのオファーも多い。また同時に、個展やイベント会場でその場で墨絵を仕上げるライブペイントを展開。短時間で数枚同時に描くスタイルを確立。さらにミュージシャンやパフォーマーとのコラボレーションを試み、よりクオリティの高いライブペイントを目指している。店舗や寺院等の壁画も依頼され各地に墨絵を残している。

2008年北京に続き、2012年はロンドンにてオリンピック開幕前にアスリート達の前でライブペイント実行、好評を得る。



桜 men

和楽器界で活躍している伝統芸能をクールにポップに世の中に広めていくべくルックス、実力を兼ね備えた唯一無二の若手イケメン和楽器演奏集団。担当楽器の実力は一流で、番組出演や有名アーティストとの共演や名誉ある賞を受賞する等、多岐に渡って活動をしている。



中村仁樹 (尺八) -Masaki Nakamura-

愛媛県宇和島市出身。宇和島文化大使。17歳で尺八に出会い、東京藝術大学音楽学部邦楽科尺八専攻に進む。

soloアルバム「祈り」など10枚のアルバムを発表。

SQUAREENIX『戦国 IXA』テーマソング演奏、40枚以上のアルバムに参加。HANABIproject コンピレーション CD がカナダ iTunes ダンスチャート1位を獲得。東京 JAZZFESTIVAL 2016.2017 等に出演。コシノジュンコファッショショールにて演奏。「しのぶ」ファッションモデル。

第六回尺八新人王決定戦、第三回東京邦楽コンクール、第二回和洋楽器グループコンテスト優勝。ベストデビューアルバムオブザイヤー 2018 受賞。



古里祐一郎 (和太鼓) -Yuichiro Furusato-

9歳から和太鼓を始める。ヨーロッパ、台湾、ベトナムなどでの海外公演など精力的に活動する。

2012年、2014年とアヴリル・ラヴィーンジャパンツアーに出演したほか、嵐・坂本冬美・長山洋子・水樹奈々など有名アーティストのコンサートサポートを手掛ける。また、AKB48への和太鼓指導、バラエティ番組への出演など活動は多岐にわたる。



大川義秋 (箏) -Yoshiaki Ookawa-

2011年に発生した東日本大震災後、福島から関東に避難し転校先の高校の部活動で「箏」と出会う。

第23回くまもと全国邦楽コンクール本選にて最優秀賞 & 文部科学大臣賞を受賞。

古典の研鑽を積む傍ら邦楽のみならず様々なジャンルの楽曲を独自のアレンジにより斬新に演奏。箏の新たな可能性を模索しながら、津軽三味線北村流の名取北村貴秋としても活動の幅を広げる。